

「さかのぼり申請」について

2009(H21)年度以前に科目認定校を卒業された方に関するご案内

2015年6月

公益社団法人 日本地理学会が認定する「地域調査士」資格の取得を目指す方は、大学在学中に下記科目(図1)の単位を取得し、地域調査に関する卒業論文を執筆したうえで、学会の講習会(有料)に出席する必要があります。

平成25年6月22日に地域調査士規程の「学部科目の認定に関する審査要領」の附則の一部が改訂され、現在社会人として活躍されている地理学科卒業生の方々も「地域調査士」の資格が取得しやすくなりました。広くこの制度を周知させて頂くことが必要と考え、この附則の内容に関してここで説明させていただきます。

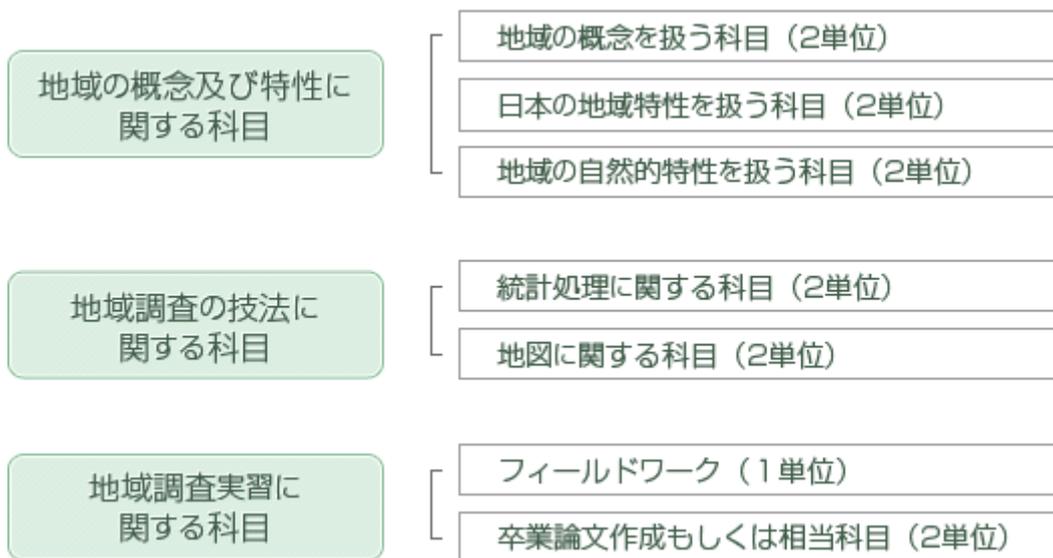


図1 地域調査士資格取得の前提となる科目

附則は、2009(平成21)年度以前に開講された科目の単位を修得され、地理学科(地理学専攻など)を卒業し社会で活躍されている方々を対象に「地域調査士」資格を取得していただく目的で定められたものです。シラバスが整備される以前の時代に、現在認定されている科目に相当する科目の単位を取得されている場合は、「科目名」と「講義担当者氏名」で認定作業を行います。なお、認定委員会の判断で、当時の「講義要項」等に記載された講義内容を確認するため、「講義要項」等のコピーの提出を求める場合があります。

さかのぼり申請(2009(平成 21)年度以前の、科目認定校の開講科目での申請)は、下記をご確認のうえ講習会を受講し、その後に申請してください。納入された申請料金はお返しできませんので、慎重に判断してください。不明な点、不安な点のある方は、申請前に資格専門委員会(日本地理学会目黒分室)へご相談ください。

- ① 卒業した大学の地理学科や専攻等が、地域調査士の科目認定校であること。卒業した大学が認定校であるかどうかは、次のサイトを参照ください。 <http://ajg-certi.jp/gr/becomes/gr/becomes2013ac.html>
- ② 現行の認定科目に相当する科目の単位を過去に取得しており、卒業済みであること。各大学の認定科目は次のサイトからリンクが設定されている各大学の認定科目一覧表を確認してください。
<http://ajg-certi.jp/gr/becomes/gr/becomes2013ac.html>

現在の認定科目と、過去にあなたが取得された科目は、必ずしも科目名が同じとは限りません。しかし、講義内容が同様であれば、申請できる可能性が高いといえます。認定科目の内容については、出身校の Web サイトからシラバスを参照して慎重に検討してください。多くの大学では部外者にもシラバスを公開していますので内容の確認は比較的容易にできると思います。

- ③ 在学当時に執筆した卒業論文が地域調査を扱ったものであり、そのコピーを認定委員会に提出できること。学説史や特定の統計資料に強く依存した卒論など、地域調査とは関係の薄い論文以外、地理学科の卒論として単位を与えられたものであれば、地理学の分野を問わず地域調査に関連した論文と認められる可能性があります(最終的には認定委員会が判断します)。
- ④ 地域調査士講習会(有料)に出席し、修了証書を取得済みであること。地域調査士講習会は、年3回開催されます。このうち1回に出席し、修了証書を取得する必要があります。

附則

平成 21 年度以前に開講された科目であって、別表 C の科目の細分欄に掲げる科目、これらの科目の名称を含む名称の科目又はこれらの科目の名称と同義であると認められる名称の科目にあつては、第 4 条の規定にかかわらず、コアキーワード及び選択キーワードに該当する授業の有無を問わない。

附則 この要領は、平成 25 年 6 月 22 日から施行する。

問い合わせ先(事務職員の出勤日が限られておりますため、問い合わせはできる限りメールでお願いいたします)

〒153-8522

東京都目黒区青葉台 4-9-6 日本地図センタービル内
公益社団法人 日本地理学会資格専門委員会

TEL & FAX :03-6416-8683

E-mail:meguro@ajg-certi.jp